

【6.6.1.4】欧州における特許を対象にした侵害防止調査

Q

自社で開発した商品を欧州で販売したい。特許侵害で訴えられることは避けたいが、どうしたら良いか？

1) 調査ツールの選択

欧州における特許は、欧州特許庁（以下、EPO）が提供する Espacenet、世界知的所有権機関（以下、WIPO）が提供する PatentScope やドイツ特許商標庁（以下、DPMA）が提供する DEPATISnet などに収録されており、いずれを利用しても KW 検索や分類検索を行うことが可能であるが、高度な論理検索（KW などの AND 検索や OR 検索）ができること、HIT した文献を日本語に翻訳する機能があることなどを考慮し、WIPO の PatentScope を利用した事例を紹介する。

2) 検索事例

PatentScope の検索画面は下記 URL から接続することができる。日本語版以外にもモバイル版、英語版、ドイツ語版、中国語版、韓国語版など複数のインターフェースが用意されている。また、検索画面には 4 つの検索モードが用意されているので目的に合わせてモードを選択する。

<https://patentscope.wipo.int/search/en/search.jsf>

◆検索モードの紹介

簡易検索：フルテキストや氏名(名称)など 8 種類の検索フィールドから 1 つを選んで検索を行う。

詳細検索：検索ボックスに検索語、検索式、フィールドコードなどを指定した検索構文を入力して、複数の条件を組み合わせた検索を行う。

構造化検索：発明の名称や要約など複数の検索フィールドでそれぞれ検索条件を指定し、それらの条件を組み合わせた検索を行う。

多言語検索：入力した検索用語を自動的に 12 言語に翻訳し、その全てを使って特許文献の検索を行う。



今回は、複数の検索項目を設定でき、より目的に近い検索ができることから「構造化検索」モードを選択した事例を紹介する。

◆調査目的および調査対象

調査対象例として下記の調査目的および開発技術を設定した。

調査目的：以下の技術を開発した。欧州において製品を販売したいので他者特許を侵害しないか確認する

<自社開発技術>

主題：「エスプレッソメーカー」

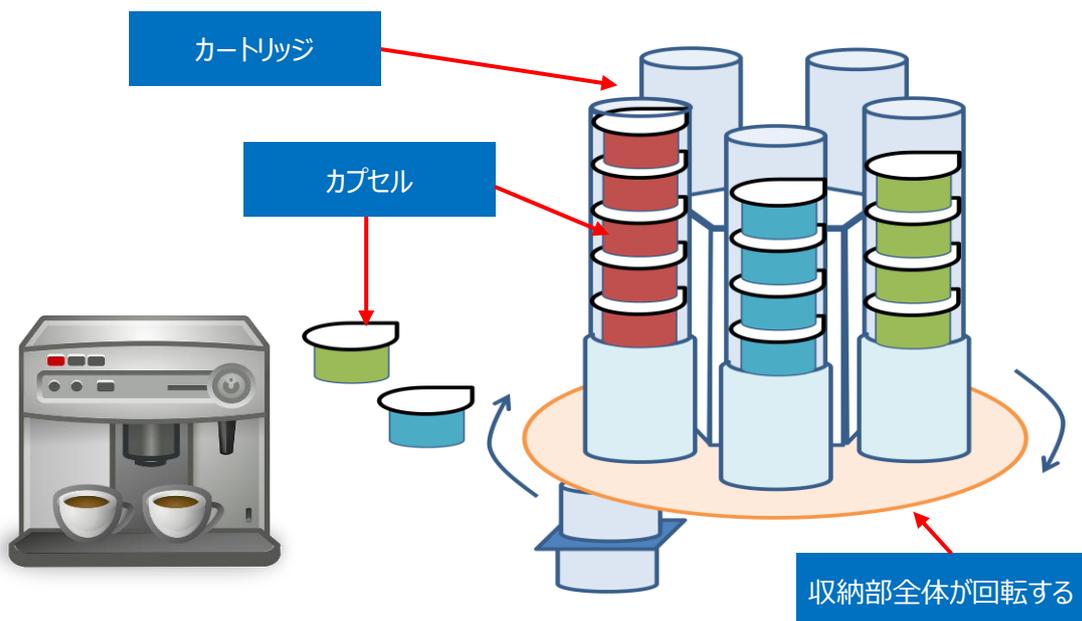
広義の主題：「飲料用抽出装置」

[コンセプト]

- ・ホテル・コンビニ・職場・家庭などで広く使うことのできる、一台で多種多様な味が楽しめるエスプレッソメーカーを提供する。
- ・予め装置の中に複数種類、複数個のカプセルをストックしておけるようにする。
- ・操作はできるだけ簡単にする。

[装置の主な構成]

- ① 飲料用抽出装置、いわゆる、エスプレッソメーカー
 - ・エスプレッソだけではなく、お茶その他の飲料用でも可
- ② 複数種類の（コーヒー粉末などの入った）カプセルがある
 - ・例えば、コーヒーの種類などが異なる複数種類のカプセル
- ③ それらのカプセルはまとめられ、収納ケース（カートリッジ）に収納されている
 - ・例えば、筒状の収納ケース（カートリッジ）があり、収納ケース内には同じ種類のカプセルが収納されている
- ④ 複数のカートリッジが収納されている収納部を回転させることにより所望の種類のカートリッジを供給することができる
 - ・例えば、収納部が回転し、位置合わせされ、指定した種類のカプセルが抽出部にセットされる



◆予備検索・準備編

調査を行う前に、該当技術に対応する特許分類の選定や、適切な技術用語を設定しておく必要がある。技術用語については、単純な英訳ではなく、同義語や上位概念も含め、適切な KW を設定する必要がある。

①該当技術に対応する特許分類の特定

特許分類の定義や周辺の特許分類は独立行政法人工業所有権情報・研修館が提供する「特許情報プラットフォーム J-PlatPat」の「[パテントマップガイダンス \(PMGS\)](#)」を利用することで参照できる。

https://www5.j-platpat.inpit.go.jp/pms/tokujitsu/pmgs/PMGS_GM101_Top.action

J-PlatPat のパテントマップガイダンス(PMGS)の画面のタブで「キーワード検索」を選択し、検索する特許分類として FI を選択し、「キーワード」の欄に例えば【エスプレッソ】を KW とし FI 検索をした結果、FI:A47J31/30 にエスプレッソメーカーに関連すると思われる分類があった。これを手がかりに IPC を確認する。

パテントマップガイダンス (PMGS) ヘルプ

FI・Fターム、IPCの説明を照会できます。また、キーワードから分類を検索できます。

公報発行、更新予定については、[ニュース](#)をご覧ください。

改廃情報：[FI改正情報](#) [テーマ改廃情報](#) [テーマコード表](#) [IPC改訂](#)
分類・Fタームに関する情報：[パテントマップガイダンス\(旧\)情報](#) [IPC分類表及び更新情報](#)

照会 **キーワード検索** [コンコードダンス検索](#)

照会画面項目を選択後、キーワード、サーチ範囲を入力し(いずれか一方でも可)、検索ボタンをクリックしてください

照会画面 FI FIハンドブック
 Fタームリスト Fターム解説
 IPC第8版(日付指定)

キーワード

AND

サーチ範囲(分類)

表示種別 一覧表示 ターゲット表示 同階層表示

| FI | 説明 |
|-------------------------------|---|
| A47J31/06,300 | ・圧力下でコーヒーを抽出するためのもの、例、 エスプレッソマシン用 (紙製 A 4 7 J 3 1 / 0 8) |
| A47J31/08,105 | ・圧力下でコーヒーを抽出するために使用されるもの、例、 エスプレッソマシン用 |
| A47J31/30,100 | ・古典的な エスプレッソ 装置、例、ストーブの上に置かれるもの、すなわち水は下部の気密沸騰容器内で加熱され、蒸気圧によって上昇パイプおよび抽出チャンバを通り、次に漏わかし器の上部の飲料容器内に集められるもの |

PMGSのIPC分類表よりA47J31を参照し、前後の分類や上位階層の分類を確認したところ、今回の主題であるエスプレッソメーカーに該当する分類はA47J31/24およびA47J31/30であることがわかった。今回の事例の場合、広義の主題として「飲料用抽出装置」を設定しているため、上位分類であるA47J31/00を選択するが、エスプレッソメーカーに絞って検索をする場合にはA47J31/24を選択することが好ましい。

| IPC | 説明 |
|------------------------------------|--|
| • 31/00 (2006.01) | 飲料を作る装置（家庭用の食品ろ過機械またはろ過器具A47J19/00；非アルコール飲料の調製，例．果実または野菜ジュースに対する成分添加によるもの，A23L2/00；コーヒーまたはティーポットA47G19/14；ティーインフューザーA47G19/16；ビールの醸造C12C；ぶどう酒または他のアルコール飲料の調製C12G）〔5〕 |
| • 31/02 (2006.01) | • 飲用容器の上に置かれ，取外し自在な抽出容器，例．コーヒーフィルター，を有するコーヒー製造機（フィルターA47J31/06） |
| • 31/04 (2006.01) | • 上昇管を有するコーヒー製造装置 |
| • 31/043 (2006.01) | • 粉砕済のコーヒー豆の入った上部容器まで熱湯を送り，加熱源から真空のためにフィルターを通して下部容器内に吸引される作用の上昇コーヒー製造装置 |
| • 31/047 (2006.01) | • 熱源の自動切断を有するもの |
| • 31/053 (2006.01) | • フィルターを通り繰り返し循環してこすもの |
| • 31/057 (2006.01) | • 飲料容器と分離された水容器を有し，熱湯が一回だけフィルターを通過するもの |
| • 31/06 (2006.01) | • コーヒーまたは茶製造器具のフィルターまたはろ過器 |
| • 31/08 (2006.01) | • そのための差込紙製フィルター |
| • 31/10 (2006.01) | • 煎出容器が飲料容器の上または上部にあるコーヒー製造装置；ドリップ式コーヒー製造器（A47J31/02が優先） |
| • 31/12 (2006.01) | • 熱湯の蒸気がフィルターを越えて上昇し凝縮後フィルターを通るもの |
| • 31/14 (2006.01) | • 注出口内にまたはその後部にフィルターを有するコーヒーまたは茶製造装置 |
| • 31/16 (2006.01) | • 下部で水を沸騰させ次にフィルターを通すために転倒させられる転倒コーヒー製造装置 |
| • 31/18 (2006.01) | • 粉砕済コーヒー豆または茶葉が飲料容器の熱湯中に浸される装置 |
| • 31/20 (2006.01) | • 濃せきが可能な，例．回転可能な，フィルターをもつもの |
| • 31/22 (2006.01) | • ろ過済コーヒーを作る遠心分離機（A47J31/20が優先） |
| • 31/24 (2006.01) | • 圧力下で熱湯をフィルターに通すコーヒー製造装置（A47J31/043が優先） |
| • 31/30 (2006.01) | • 蒸気圧下で熱湯を用いるもの |

メイングループ
A47J31/00 内の
「IPC」より抜粋

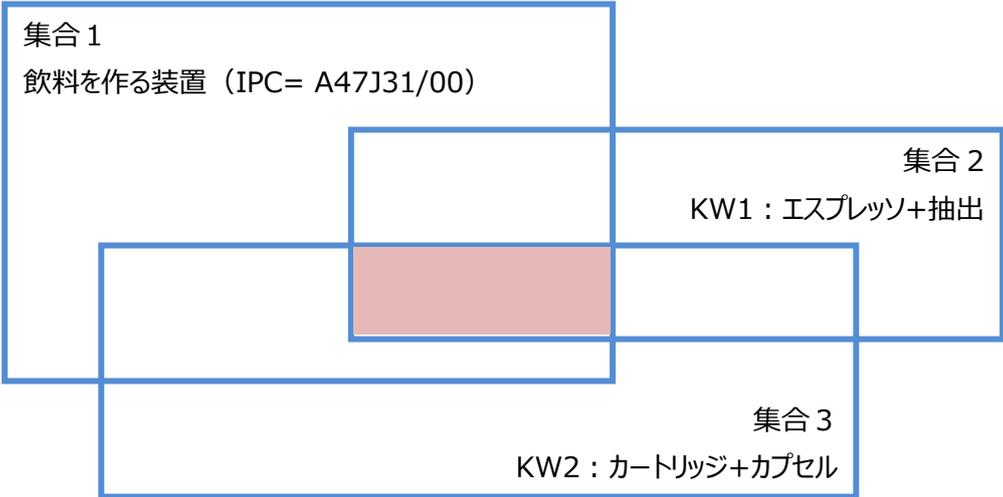
②技術用語の設定（英語）

日本語のKWに対して考えられる英語のKWを設定し、そのうえで、さらに関連したKWを検討し、検索に用いる英語のKWを決定する。

| 発明（構成要件） | 日本語KW | 英語KW | 検討事項、他のKW等 |
|----------|-------------------|----------------------|--|
| 前提技術 | コーヒーメーカー | | KWではなく、IPC=A47J31（飲料を作る装置）で限定する |
| 特徴1（KW1） | エスプレッソ (飲料用)抽出 | Espresso extract | エスプレッソ以外の表現を検討→「抽出/extract」 |
| 特徴2（KW2） | カートリッジ カプセル | cartridge capsule | カートリッジ→差し替え可能な収納容器（カプセルが収納される） カプセル→コーヒー豆の粉末等が密封されたもの |

調査対象集合は、前提技術と構成要件の特徴技術とを掛け合わせることで作っていく。今回の事例の場合、前提技術は IPC で限定することとし、特徴技術についてKWを設定した。また掛け合わせについては、以下のように設定した。

<検索方針>
前提技術：IPC=A47J31/00（飲料を作る装置（主題を包含する特許分類））
KW1：Espresso or Extract
KW2：Cartridge or Capsule
検索式 = EP and IPC and KW1 and KW2



◆実践編

| 表紙 | = | |
|--------------------|---|--|
| 及び 国名 (国コード) | = | EP |
| 及び 出願番号 | = | |
| 及び 公開日 | = | |
| 及び フルテキスト (英語) | = | Espresso or Extract |
| 及び フルテキスト (英語) | = | Cartridge or Capsule |
| 及び 出願人氏名 (名称) | = | |
| 及び 国際特許分類 | = | A47J31/00 |
| 及び 発明者氏名 (名称) | = | |
| 及び 優先日 | = | [01.01.1997 to 31.12.2016] |
| 及び 明細書 (英語) | = | |
| 及び 請求の範囲 (英語) | = | |
| 及び ライセンシングによる利用可能性 | = | <input type="checkbox"/> |
| (及び 発明者氏名 (名称) | = | のデータ <input checked="" type="radio"/> 特定せず <input type="radio"/> 無し <input type="radio"/> 有り |

言語: 英語 語幹処理適用: 官庁: 全て Specify ⇨

0 検索結果 検索 リセット

検索対象とする特許分類および KW を設定したので、PatentScope にアクセスし欧州特許に対する検索を行う。まず検索モードとして「構造化検索」を選択し、検索言語を「英語」に変更する¹。これにより、英語で収録されている情報、特に要約や請求項など明細書本文のテキスト情報に対し検索することができるようになる。今回は検索式に英語の KW を使用するため、この手順が必要となる。言語を指定したら、左側のプルダウンメニュー（どの行でも良い）から「国名（国コード）」を選択し右側の検索ボックスに【EP】を、「フルテキスト（英語）」を選択し前述の KW1～2 を、「国際特許分類」に【A47J31/00】を入力する。一般的に特許分類を検索する際には、下位分類を含む検索・含まない検索の条件設定に気を配る必要がある。A47J31/00 はコーヒー製造装置に対応する最上位の特許分類であり、エスプレッソメーカー（A47J31/24～）は、その下位分類となる。PatentScope における特許分類検索は下位分類が自動的に含まれるようになっている。そのため特許分類の指定としては A47J31/00 のみ入力すれば良い。最後に優先日などの日付の限定を行う。表記は、欧州スタイルの dd.mm.yyyy を括弧 [] でくくった形となる。例えば、「1997 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日」の範囲を入力したい場合は、【[01.01.1997 to 31.12.2016]】と入力する。to の両側にはスペースが必要である。日付については検索インターフェースが日本語モードでも欧州スタイル（日月年）なので注意が必要である。基本的に侵害防止調査の場合、調査を実施する時点から起算して 20 年を優先日の期間限定の条件とする²。

¹ PatentScope はテキスト情報が原語で収録されている。そのため KW 検索において検索言語を適切に設定する必要がある。英語以外の KW で検索する場合には、画面左下の「言語」を入力する言語にあわせるか「全言語」を指定する必要がある。本書では言語を英語に設定する手順を紹介している。

²特許の権利期間は出願から 20 年であるため。

この状態で「検索」をクリックすると、以下のような検索結果が表示される。

WIPO PATENTSCOPE
 国際・国内特許データベース検索
 WORLD INTELLECTUAL PROPERTY ORGANIZATION
 検索 閲覧 翻訳 オプション 最新情報 ログイン ヘルプ
 ホーム > IP サービス > PATENTSCOPE
 検索結果: 1 - 10/829 件 検索条件: CTR:EP AND EN_ALLTXT:(Espresso or Extract) AND EN_ALLTXT:(Cartridge or Capsule) AND IC:A47J31/00 AND PD:([01.01.1997 to 31.12.2016]) 言語:all 言語:EN 語幹処理:true
 戻る 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 次へ Page: 1 / 83 Go >
 絞り込み検索 CTR:EP AND EN_ALLTXT:(Espresso or Extract) AND EN_ALLTXT:(Cartridge or Capsule) AND 検索 RSS
 Instant Help
 結果分析
 並び替え: 関連性 View 詳細表示 表示件数: 10 自動翻訳

| 国際特許分類 | 出願番号 | 発明の名称 | 出願人 | センター | 公開日 |
|------------|------------|---|-----------|------|------------|
| 1. 1882431 | A47J 31/00 | Method for delivering a long coffee extract from a capsule in a reduced flow time | NESTEC SA | EP | 30.01.2008 |

Method for delivering a long coffee extract from a capsule containing ground coffee within a flow time of 50 seconds or less by injection of water under pressure within the capsule. The capsule is filled with ground coffee and has a delivery membrane. The capsule is extracted in a coffee extraction device, and pressurized water is injected in the capsule under pressure. The coffee beverage is released through the beverage delivery membrane of the capsule with engaging means engaging in and/or against the membrane. The pressure loss is reduced in the coffee bed by providing in the capsule coffee ground having a controlled percentage of fines (F) depending on the average particle size (D 4,3). The flow time can be lowered to 40 seconds or even less while maintaining a coffee extraction yield within a high range of 15 to 30%.

上図は 1 件しか示していないが実際の画面には HIT した特許が要約とともに一覧形式で表示される。自動翻訳機能を使えば表示内容を日本語にすることもできる。詳しい内容が知りたいときは左側の「公開番号」をクリックする。その特許の書誌情報、請求項、図面などの情報が得られ、さらに明細書本文も確認することができる。これらの請求項や明細書本文のテキスト情報についても自動翻訳機能を利用することができる。また侵害防止という観点で言えば、請求項に対する確認をすることが必要である。したがって、要約だけでなく、必ず請求項を確認することが重要である。

| 国際特許分類 | 出願番号 | 発明の名称 | センター | 公開日 |
|------------|------------|--------------------------------|------|------------|
| 1. 1882431 | A47J 31/00 | 長い配信する方法コーヒー抽出液をからカプセル極小フロー時間に | EP | 30.01.2008 |

長時間送達するための方法のコーヒー抽出物からカプセルを含むグラウンドコーヒー内の圧力下で水を注入することによって50秒以下のフロー時間内にカプセル。カプセルは、地上で満たされているコーヒーおよび送達膜を有しています。カプセルは、抽出にコーヒー抽出装置、及び加圧水を注入されたカプセル圧下、コーヒー飲料を介して放出される飲料の送達膜カプセル及び又は膜に対して係合手段を係合させると、圧力損失が低減されるコーヒーの中に提供することにより、床カプセルコーヒー微粒の制御された割合 (F) の平均粒径に応じて (D 4,3) を有する地上。維持しながら、フロー時間を40秒またはそれ以下に低下させることができるコーヒー抽出 15~30%の高い範囲内収率。

これらの HIT 文献を 1 件ずつ確認していくと、以下のような公報を見出すことができる。

WIPO PATENTSCOPE 国際・国内特許データベース検索

22. (EP124781) Extraction apparatus with integrated cartridge supply system

国内書誌情報 明細書 請求の範囲 図面 書誌

出願番号: 01108382 出願日: 03.04.2001
 公開番号: 1247481 公開日: 09.10.2002
 公報種別: B1
 指定国: AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LI, LU, MC, NL, PT, SE, TR.

IPC: G07F 11/44
 G07F 13/06
 A47J 31/38
 A47J 31/40
 G07F 9/02

出願人: NESTLE SA
 発明者: DENISART JEAN-LUC
 COLANTONIO JEAN-LUC
 SCORRANO LUCIO

優先権情報: 01108382 03.04.2001 EP
 発明の名称: (FR) Dispositif d'extraction avec système de chargement en capsules contenant une substance à extraire dans un système d'extraction sous pression pour la préparation d'une boisson comprenant un moyen d'emmagasinage (10) comprenant des capsules (5) ordonnées selon plusieurs séries (11), des moyens (20,30) pour décharger individuellement une capsule (5) dans une partie de réception (43) du système d'extraction caractérisé en ce que la partie de réception (43,44) du système d'extraction est arrangée en dessous des moyens de déchargement (20,30) de façon à permettre la descente directe de la capsule libérée dans la partie de réception (43,44) et en ce que la partie de réception comprend des moyens d'ouverture (46) de la capsule aptes à libérer l'extrait liquide.
 (EN) The system for feeding capsules of coffee into an extraction unit in a coffee machine comprises cartridges (11) in which the capsules are stacked. These are mounted on a carousel (10). The support platform (20) allows individual capsules to descend into the unit, which is fitted with a toothed plate to open them.

カートリッジ

カプセル

回転する

Fig. 1

<開示内容>

- A: エスプレッソメーカー
- B: コーヒー粉末などの入ったカプセルがカートリッジ内に予め収納されている
- C: カートリッジは収納部に保持される
- D: 収納部全体を回転する回転手段がある
- E: 収納部を回転させることで、任意のカートリッジが選択される
- F: 抽出部にはカプセルに穴をあけて抽出液を取り出すための手段がある

この特許は自社の開発技術コンセプトの構成要件①～④を包含する内容（上記開示内容の A、B、C、D）が記載されていることがわかった。つまり、開発技術コンセプトをそのまま実施した場合、この特許を侵害してしまう可能性がある。したがって、この特許の請求項の詳細な権利範囲を確認したり、現時点での生死を確認するなどの対応をとる必要がある。確認した結果、この特許の権利を侵害すると判断した場合には、仕様やコンセプトの変更などにより、この特許を回避することも選択肢の一つとなる。

なお、欧州特許を対象とした検索事例として、本稿では英語を検索言語に指定したが、PatentScopeを利用して検索をする際には検索言語の指定を適切に行うことが重要である。英語以外の言語で出願されている公報、例えばドイツ語、フランス語で記載された欧州特許を検索するためには、それぞれの言語による KW も加えて検索することが望ましい。

<ドイツ語およびフランス語で検索する例>

| | | | | | |
|-----|---|---------------|---|---------|---|
| AND | ▼ | 発明の名称 | ▼ | = | |
| AND | ▼ | 要約 | ▼ | = | Kaffee or café |
| AND | ▼ | 出願人氏名 (名称) | ▼ | = | |
| AND | ▼ | 国際特許分類 | ▼ | = | |
| AND | ▼ | 発明者氏名 (名称) | ▼ | = | |
| AND | ▼ | 官庁コード | ▼ | = | |
| AND | ▼ | 明細書 | ▼ | = | |
| AND | ▼ | 請求の範囲 | ▼ | = | |
| 及び | | ライセンスによる利用可能性 | | = | <input type="checkbox"/> |
| (及び | | 発明者氏名 (名称) | ▼ | のデータ | <input checked="" type="radio"/> N/A <input type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No |
| 言語 | | 【全言語】 ▼ | | 語幹処理適用: | <input checked="" type="checkbox"/> |

◆まとめ

以上のように、自社の開発製品の構成要件（技術的特徴）を検索式に組み込み、HIT した公報の内容（特に請求項）を確認することで、開発製品に近い内容を特許請求している特許を把握することができる。製品を販売する前に侵害防止調査を実施すれば、特許侵害で訴えられる事態を未然に防ぐことができる。

特許の権利は、特許請求の範囲（別の表現では請求項あるいは Claim）に記載されている内容であるため、侵害防止調査は、基本的には請求項を対象に判断する。しかしながら請求項は上位概念化された語や特殊な言い回しが用いられることも多い。そのため検索時の漏れを防ぐために、請求項に限定した KW 検索だけでなく、要約あるいは全文を対象とした KW 検索を実施することが望ましい。

◆ 検索するときは、請求項以外も対象にする（要約あるいは全文も対象とする）

◆ 査読するときは、請求項を対象にする

欧州地域で特許侵害を防ぐためには、欧州特許に加え、欧州各国の特許についても同様の作業を行い、

侵害可能性のある特許を把握しておく必要がある。

Point

検索時の漏れを防ぐために、請求項に加え要約や全文も検索対象とすることが望ましい。

侵害の可能性については請求項の内容を検討する必要があるため、内容の近い特許が見つかった場合には、必ず請求項を確認する。

欧州地域で特許侵害を防ぐためには、欧州特許に加え、欧州各国の特許についても同様の作業を行い、侵害可能性のある特許を把握しておく必要がある。

PatentScope はテキスト情報が原語で収録されているので検索をする際には検索言語の指定および KW の言語設定を適切に行うことが重要である。